ENSHU WAGURI PROJECT

掛川栗から始まる食の未来

遠州・和栗プロジェクト

課題を抱える産地と地域を想う
企業との出会い。
そこから多くの巡り会いがあり、
取り組みの輪が広がっています。
これは、掛川の栗から始まるお話。
私たちには、びっくりするような
未来が待っています。

びっくりする未来が待っている

ENSHU WAGURI PROJECT

掛川は県内有数の栗産地、でも…

掛川市で栗栽培が本格的に活性化してきたのは、昭和50年代のこと。水稲の生産調整が行われる中、転作作物の一つとして栗がありました。機械の導入が難しい山沿いの水田などに栗の木が植えられ、現在でも西郷、桜木、原田などの管内北部地域を中心に栗園が点在しています。

ＪＡ栗部会には、現在47名の生産者が在籍しています(令和5年度出荷者数)。部会員が収穫した栗は、ＪＡ富部集荷場に持ち込まれ、選果機で選別後に出荷されます。

最盛期の平成16年には約30ｔ収穫していましたが、現在は約6ｔまで減少。その要因について、ＪＡ営農課の吉政諒販売担当は「生産面と販売面の両方に課題がある」と話します。

「部会員の多くが、親の代に植えた圃場を継いでいますが、20年を過ぎた栗の木は収穫量が減少してしまいます。また、夏場の防除はきつい作業で、収穫や出荷調整には手間がかかります。販売面でも、収穫期間が1カ月程度と短く、収入として見込みにくい状況でした」。これらの理由が後継者不足につながり、掛川の栗は減り続けていきました。

ＪＡ富部集荷場に持ち込まれた栗は、選果機で病害虫などを検査した後、大きさによって分けられます。

プロジェクトの始まり

そんな現状を心配したＪＡ静岡経済連が、3年前に連携を持ち掛けたのは「うなぎパイ」を製造・販売する菓子メーカーの春華堂でした。「地域に愛してもらい成長してきたからこそ、地域のために何ができるかを模索してきた」という同社はこの話を受け、生産現場の課題を解決し、掛川の栗の魅力を世界に発信するプロジェクトを立ち上げます。2社間ではどちらかがやめると終わってしまうため、企業に協業を持ち掛け、日本航空、遠鉄百貨店、浜松いわた信用金庫、ヤマハ発動機、静岡放送、静岡新聞社が参画しました。

令和4年に本格始動したプロジェクトは、その後も連携の輪がどんどん広がり、令和6年3月時点で市町を含む、遠州地域を中心とした23の企業・団体が加わっています。

令和４年９月に早川農園(桜木)で収穫体験を行いました。

おいしい栗でブランド力を強化

令和4年は主に、勉強会や収穫体験、試

Voice

お菓子作りになくてはならない食材を作る方は〝特別な存在〟です

有限会社春華堂　広報室
課長補佐　宮崎智明さん

春華堂の想い

以前は、当社の栗むし羊羹（ようかん）に掛川の栗を使用していましたが、天候不良により安定した仕入れが難しくなり、他産地に切り替えた過去があります。それも生産者を苦しめる一因になってしまったのではないかと考えます。地域に愛してもらって成長してきた春華堂だからこそ、遠州の地で育った原材料を使い多くの方に届けたい。２０１５年から始めた水窪あわプロジェクトでは、これまであまりなかった生産者と関わる機会が増え、農業をもっと盛り上げようという想いに火が付きました。日本を支える産業である農業が、もっと魅力的になってもらいたいと思います。

〈特集〉

遠州・和栗プロジェクト これまでの歩み

2022年
- 7月 栗の勉強会
- 9月 収穫体験・早川農園（桜木）
- 10月 試食会
- 11月 掛川市長訪問

2023年
- 3月 栗フォーラム&ディナー
- 9月 秋の大収穫祭・ゆみげた農園（原田）
- 10月 えな栗フェス2023（岐阜県）
- 11月 ジャパンモビリティショー軽トラ市（東京都）
- 11月 植樹祭・早川農園（桜木）
- 12月 第8回全国軽トラ市inはままつ 熟成焼き栗販売

2024年
- 2月 WAGURI ディナー&フォーラム・掛川グランドホテル

pick up! 盛大に開催

2月27日、28日に、掛川グランドホテルで「WAGURIディナー＆フォーラム」が開かれました。初日のディナーには、遠州地域8市1町の首長や副市長、生産者、企業担当者ら約200名が出席し、活動報告や意見交換が行われました。2日目には120名が参加し、基調講演などが行われました。

食会などを開催し、栗について学びました。そこから栗の魅力や可能性を探り、生産量減少の背景にある〝収益が見合わない〟生産から〝栽培したくなる〟価値作りへの取り組みを進めました。

価値向上を目指した〝おいしい〟栗を作るため、品種の食べ比べを行い味の違いを確かめました。しかし、品種間にそこまでの差がなく、2品種以上植えないと実がつかない性質もあることから、特定の品種のみを集めることは難しいと判断。そこで、石川県の栗農園で学んだ低温貯蔵による栗の熟成に注目しました。この技法は、約マイナス2℃で1カ月半貯蔵しておく方法で、デンプンが糖化することで甘みが増し、〝おいしい〟栗へと変わります。

このような取り組みにより、令和5年度のJA栗部会の1kg単価は、2年前の約1・5倍となる約1200円になりました。さらに今後は、サイズのみだった規格に甘さの基準も加えた価値作りや、機械を使った生産性向上などにより、1kg単価1500円や更なる引き上げを目指します。

〝和栗〟がつくる可能性「リジェネラティブ」

掛川栗の再生復興として始まったプロジェクトは、多くの企業・団体が参画し、技術の導入や販売で新たな価値を生み出しています。この仕組みを県外の栗産地や他品目、さらには他分野でも共有することで、日本全体を振興するプロジェクトとなることを目指しています。

また、生産から販売までの工程の中に新たな取り組みが生まれることで、その可能性はさらに高まります。遠州という地域は、製造業や農業などの産業に加え、食資源、研究、森林、物流、文化観光に優れるという、ほかの街にはまねできない優位性を持っています。「和栗」を通じた連携で、「新たな街づくり」に取り組みます。

遠州・和栗プロジェクトとは

遠州・和栗プロジェクト
～掛川栗から始まる食の未来～

遠州地域を中心とした企業、団体が「WAGURI(和栗)」をブランド化し、世界に発信していこうとする活動、またその仕組み。栗の生産や販売などを通じて、地域の活性化に取り組んでいます。これまでに管内での収穫祭や植樹祭、「WAGURI ディナー＆フォーラム」などを開催。

LOGO

栗の家紋をベースに、上部は富士山、下部は遠州灘をイメージして作成。ENSHUのところに地名を入れることで、他産地での展開にも期待しています。

ENSHU WAGURI PROJECT

プロジェクトの活動はここでチェック！

遠州・和栗プロジェクト - note
https://note.com/enshu_waguri_pj

ちょっと豆知識

リジェネラティブ（持続発展）って何？

サステナビリティが現在の課題を解決し、持続可能な未来を目的にすることに対して、価値創造により未来の世界にプラスの影響を与える取り組み。

参考事例：自動車

サステナビリティ
電気自動車などにより CO_2 排出量を減らす。（マイナスをゼロに）

リジェネラティブ
次世代型モビリティ（移動・輸送手段）
走れば走るほど CO_2 を吸収する自動車（ゼロからプラスに）

みんなで栗を盛り上げよう

参画する企業や団体が、それぞれの特徴を生かした取り組みを行う中、私たちの役割は栗を栽培することです。

プロジェクトは、長期的な事業として考えられ、将来的な目標として収穫量100tを掲げています。皆さんもその一員として、栗を栽培してみませんか。

和栗栽培作業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	草刈り					収穫			せん定			
作業	春肥		夏肥				秋肥					春肥
			病害虫防除									
						作業ピーク				作業ピーク		

★ 基本的に30～40本／10aで植栽
★ 年間作業時間約70～90時間（ミカン約240時間、イチジク約600時間）
★ 作業の大半は収穫（9月～10月）とせん定（12～2月）

栗の栽培は、日当たりが良く、排水性のある場所が適しています。pHの調整は必要ですが、茶園の後でも植えることができます。

年間の作業時間は約70～90時間と、ほかの果樹に比べて短く（ミカン約240時間、イチジク約600時間）、作業の大半を9、10月の収穫と12～2月のせん定が占めます。令和5年度からは、プロジェクトの取り組みとして販売単価が上がり、販売金額から経費を引いた所得金額は180,000円、所得率は60％（成木、10a当たり）になっています。作業時間から見た収益性を考えると、他品目よりも優位に立つようになりました。

今年は、7月に行う栽培講習会をはじめ、5回の講習会を予定しています。技術面でサポートをしていきますので、質問などありましたらいつでもご相談ください。

Voice

栗の栽培を教えてくれるのは

JA静岡経済連西部支所
みかん園芸課
藤川俊朔さん

まずは数本からでも！栗を植えませんか

栗栽培に補助金をご利用ください

栗圃場整備等事業費補助金

〈対　象〉 掛川市内で栗を栽培している方またはこれから行う方
①栗栽培のための障害物除去や整地、既存作物の伐根
10a当たり5万円を限度 ※
②栗栽培のための土壌改良（農薬除く）
10a当たり2万5,000円を限度 ※
③栗の苗木の購入
10a当たり8万円（40本）を限度 ※
※ 経費の1/2以内

土地の状態・形状等により補助できない場合があります。事前に掛川市役所農林課農産係にご相談ください。

掛川市役所農林課（☎0537-21-1147）

JA掛川市栗苗木助成

栗の苗木の購入 10a当たり4万円を限度
苗木購入金額の1/2（上限30万円）
土地の状態・形状等により補助できない場合があります。
〈要　件〉 JA掛川市で購入した苗木で、1回の購入本数が20本以上。共同販売やさすが市に出荷する生産を目的とすること。
〈期　間〉 令和6年12月31日まで
JA掛川市 営農課（☎0537-20-0809）

栗苗木の注文は7月！ 例年、7月頃に注文書を回覧し、12月上旬頃に苗木が届きます。実をつけるためには2品種以上植える必要があります。